

Governor's Monthly Letter

2022年5月号
Vol.11

2021-2022年度

国際ロータリー第2640地区

ガバナー月信

5月は「青少年奉仕月間」です



ロータリーはウクライナを支援しています

地区スローガン「広げようロータリーの光を！」

写真 和歌山県日高川町

「みやま森林公園の藤棚」



ガバナー 豊岡 敬



奉仕しよう みんなの
人生を豊かにするために

ガバナー事務局

〒640-8331
和歌山市美園町3丁目34番地
けやきONE 301号室
TEL 073-426-2640
FAX 073-426-2660
E-mail toyooka@rid2640g.com

CONVENTION.ROTARY.ORG

ヒューストン(米国テキサス州) 2022年6月4～8日

Rotary   HOUSTON
2022



世界を変える行動人

2024年までのロータリーの行動計画は、「より大きなインパクトをもたらす」、「参加者の基盤を広げる」、「参加者の積極的なかわりを促す」、「適応力を高める」ことです。

より大きなインパクトをもたらす



参加者の基盤を広げる



参加者の積極的なかわりを促す



適応力を高める



目次

RI会長メッセージ	1
ガバナーメッセージ	2
5月は「青少年奉仕月間」です。	3
青少年の保護	4
【Rニュース】	
2022年規定審議会のハイライト	5
【ロータリーボイス】	
平和の祈りを込めたコンサート	6
【地区活動報告】	
2022-23年度のための 地区研修・協議会	7
2022年度 米山記念奨学生 入学式	8
第40回 RYLA研修セミナー	9
【クラブ活動報告】	
周年記念式典 田辺はまゆうRC/和歌山RC	10
周年記念式典 堺東RC/ネパールへ衣類寄贈 粉河RC ..	11
第13回公開例会を開催 松原RC	12
新会員紹介	13
ハイライトよねやま Vol.265	14～15
コーディネーターニュース 5月号	16
会員数報告(2022年3月)	17
My ROTARY登録状況	18
5月の行事予定表	19

表紙写真は、和歌山県日高川町

「みやま森林公園の藤棚」です。

2022-2023年度 テーマ

PRESIDENT'S MESSAGE

RI 会長メッセージ

RI 指定記事

国際ロータリー会長
シェカール・メータ

親愛なるチェンジメーカーの皆さん

「Each One, Bring One (みんなが一人を入会させよう)」イニシアチブに積極的に取り組んでいただいているおかげで、ロータリーの会員増強の傾向が非常に前向きになっていることをとてもうれしく思います。この勢いを失わないよう、取り組みを続け、入会した全会員の維持にも力を注ぎましょう。来月には、ヒューストンでの2022年ロータリー国際大会で皆さまにお会いできるのを楽しみにしています。今大会が素晴らしいイベントになると確信しています。

同じ6月に、ヒューストンで最後の会長主催会議を開催します。ロータリーの重点分野を中心に上げた今年度の一連の会長主催会議は、出席者数という点でも、そこで出たアイデアという点でも、大きな成功を収めています。

昨年秋にフィリピンで開催された会議では、「環境保護」と「地域社会の経済発展」に焦点を当て、2,200人がオンラインで出席しました。ブラジルで開催された会議では、「水と衛生」およびそれが「疾病予防と治療」にどう関わるのかに焦点を当て、600人以上が出席。その後モザンビークのマプトで環境、経済、平和に関する会議が開催され、対面式で約400人、バーチャルで約700人が出席。イタリアのベネチアで開かれた「経済と環境の調和維持」に関する会議には、600人以上が出席しました。

これらの会長主催会議、そして世界各地への訪問を通じて、私は、モーリシャス首相やセーシェル大統領、バーレーン副首相、アルバニア大統領、コソボ大統領といった数多くのリーダーに会いました。そして、皆がロータリーとの協力に同意してくれました。ロータリーは明らかに世界にインパクトを与えており、世界は私たちのリーダーシップを熱望しています。

ヒューストンでの最後の会長主催会議は、「平和のために奉仕する」と題し、ロータリーが長年リーダーシップを

発揮してきた平和に焦点を当てます。ロータリーで行う全ての活動は、地域社会、国、そして自分自身の中で平和を培うための土台づくりとなります。

去る3月、大勢のウクライナの人たちがポーランドに避難してくる中、ロータリーが多額の支援を行っているのを私は見ました。この取り組みのためにこれまでに何百万ドルもの支援金が寄せられ、ロータリーのプロジェクトが多額の変化をもたらしています。皆さまの惜しみないご協力に対し、多くの人が感謝しています。

住む場所を奪われた人々を間近で見るのは、とても心が痛むことです。これはウクライナの人たちに限ったことではありません。イエメンでは悲惨な内戦が続いています。アフガニスタンでの人道危機も深刻化しています。武力紛争により、リビア、南スーダン、中央アフリカ、モザンビーク北部、エチオピア、カメルーンといったアフリカの国々が影響を受けています。また、シリアとベネズエラでも深刻な難民危機が続いています。

ロータリーはいつでも、平和的な紛争解決を選び、可能な限り人々に援助と癒やしを提供しています。第二次世界大戦の終わりにも、ロータリーが国連創設を促し、世界での平和構築のために立ち上がりました。今こそ、私たちの使命を再確認し、世界最大の平和推進者としてのロータリーの役割を果たす時です。

「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」の実践こそが、平和を推進するための最善の方法なのです。

奉仕しよう みんなの
人生を豊かにするために

Shekhar Mehta

President, Rotary International

ガバナー メッセージ

2021-22年度 国際ロータリー第2640地区

ガバナーエレクト 森本 芳宣

5月は「青少年奉仕月間」です。

豊岡ガバナーの体調不良により代理でメッセージを書かせてもらいます。

最近の地方紙の一面記事に「宇宙教育の推進へ」とありました。

県立串本古座高校に公立高校では全国初となる宇宙教育専門コースが新設されるのを前に県と県教育委員会は宇宙事業会社「スペースワン」と同校での宇宙教育活動の推進に関する協定を締結した。とありました。



同町に日本初の民間小型ロケット発射場を整備する同社(発射場はすでに完成しており年末までの打上げを予定している)と宇宙教育での連携を深め、人材育成の強化を目指し同校では本年度から「総合的な探求の時間」の一環として宇宙教育を展開。さらに2024年度からは県内外から宇宙に関心を持つ生徒を募った宇宙教育専門の「宇宙探求コース」を新設するそうです。

我々2640地区 地元における人々、若者に大きな夢を **イマジン** する話だと思いました。

2022-2023年度 RIテーマ



5月は「青少年奉仕月間」です。

地区青少年・ライラ委員長 橋本 竜也

ロータリーは、次世代のリーダーを育てることの大切さを信じています。私たちのプログラムは、教育の機会を広げ、若い世代のリーダーがリーダーシップのスキルを身につけ、奉仕の価値観を学べるよう応援します。



インターアクトクラブ

12～18歳の人たちが集まるインターアクトクラブでは、インターアクト会員が、リーダーシップを発揮する力を磨きながら、奉仕プロジェクトや活動を通じて国際感覚を養っています。



ロータリー青少年指導者養成プログラム (RYLA)

RYLAは、若い人たちが楽しみながら新しいスキルと自信を身につけることを目指すリーダーシップ養成プログラムです。このプログラムは、1日のセミナーから1週間の合宿までさまざまな形で行われます。



ロータリー青少年交換

世界100カ国以上で実施されているロータリー青少年交換は、ロータリークラブの支援の下、15～19歳の学生が外国語や異文化を学びながら、世界市民としての自覚を養うことのできるプログラムです。平和の実現を目指して国際理解を促し、若者一人ひとりの育成を支援します。



新世代交換

新世代交換は、30歳までの大学生と社会人を対象とした短期の交換プログラムです。人道的な奉仕活動を通じて参加者のキャリア目標を応援できるよう、参加者のニーズや要望に応じた内容の交換が行われます。

青少年の保護



ロータリーは、差別や身体的、精神的、性的な虐待のない、青少年にとって安全かつ前向きな環境を育むことに努めています。

青少年と接する際の行動規範に関する声明

国際ロータリーは、ロータリーの活動に参加するすべての青少年のために安全な環境をつくり、これを維持するよう努める。ロータリー会員、そのパートナー、その他のボランティアは、接する児童および青少年の安全を考え、肉体的、性的、あるいは心理的な虐待から身の安全を守るため、最善を尽くさなければならない。

虐待を防止するためのロータリーのアプローチ

若者と青少年プログラム参加者の安全と福利は、ロータリーの最優先事項です。青少年保護のためのロータリーのアプローチには、以下が含まれます。

- 青少年への虐待やハラスメントを一切容認しない
- 不正行為を防止し、青少年を含むプログラム参加者を巻き込んだ手なづけ行為や虐待への対応方法に関する方針
- 青少年保護の研修を受ける義務（ガバナーエレクト向け）
- 性的虐待やハラスメントの報告を受けて対応する際に、トラウマを考慮したアプローチを用いる訓練された職員の起用
- 青少年交換に関与する地区に求められる参加資格認定プロセス：
 - 虐待防止に関する学生、家族、ボランティア向けの研修
 - 申請、犯罪歴確認、レファレンス確認を含む、ボランティアのスクリーニング
 - 虐待やハラスメントをロータリーと地元警察に報告するためのプロセス
 - 地区特有の青少年保護方針
 - ロータリー職員による現地評価（査察）

青少年保護に関する懸念の報告

青少年保護に関する懸念を国際ロータリーに報告する。重要な責務となります。

※詳しくは、<https://my.rotary.org/ja/learning-reference/learn-topic/youth-protection>

【RIニュース】

2022年規定審議会のハイライト

「公平さとインクルージョン」をRI細則に加えることを採択

4月10～14日にシカゴ(米国イリノイ州)で4日間にわたって開かれた規定審議会は、新型コロナウイルス流行が始まって以来初めてのハイブリッド式国際会議となり、成功裏に終わりました。世界中のロータリー地区代表議員約520名が出席し、うち60%が対面式、残りがZoomを通じて参加しました。今回の規定審議会では、RI組織規定文書に変更を加える90件以上の制定案が審議、投票されました。

中でも注目された案件の一つに、バランスの取れた会員基盤を築くための多様性の推進があります。この制定案(インド[第3232地区]、Annanagar Aadithyaロータリークラブにより提案)が初日、420対56の大多数で可決されました。改正後の国際ロータリー細則には次の文章が含まれることとなります:「各クラブとローターアクトクラブは、多様性、公平さ、インクルージョンを推進するような均衡のとれた会員構成を構築するよう努めるものとする」。ロータリーは、ジェンダー、人種、肌の色、信条、国籍、性的指向によりクラブへの入会を拒否することを禁じています。あらゆる文化、経験、アイデンティティの人のインクルージョン(包摂)および地域社会を反映させる取り組みを組織として継続していくことを確認しました。

クラブ管理の試験的プロジェクト

クラブとロータリアンのための新たな地域別ガバナンス構造をRI理事会が試験的に実施することを可能とする制定案については、活発な討論が行われ、324対150で可決されました。この試験的プロジェクトは、グレートブリテンおよびアイルランドのロータリー(RIBI)およびオーストラリア、ニュージーランド、南太平洋諸国のクラブと地区に限られ、その期間は6年となります。

人頭分担金の増額

代表議員は、今後3年間の各年度の人頭分担金の増額を承認しました。クラブがRIに支払う人頭分担金は、2022-23年度には半年ごとに35ドル50セントであり、その後、2023-24年度には半年ごとに37ドル50セント、2024-25年度には半年ごとに39ドル25セント、2025-26年度には半年ごとに41ドル00セントに増額します。「この人頭分担金の調整は、最近の財務見通しの情報に基づいていま

す」とRI理事のエリザベス・ユースビッチ氏は述べ、会員の減少、収入の減少、インフレの変動がこの増額の要因であることを指摘しました。「この案件が承認されれば、ロータリーは人道的ニーズに迅速かつ思いやりある対応ができるようになります」

ロータリーのデジタル版での購読義務は否決

ロータリーには現在、世界各地に33の雑誌があります。会員が雑誌の印刷版を要請しない限りデジタル版での購読を義務づけるという制定案は、代表議員によって否決されました。現在、すべてのロータリー雑誌は、デジタル版購読を希望する読者のための選択肢を設けることが義務づけられている、とアナンサナラヤナン S. “ベンキー” ベンカテシュRI理事は述べます。しかし、購読者データによると、デジタル版を選択している人は8%にすぎず、大多数は印刷版の購読を希望しています。さらに最近の調査では、会員の70%近くが紙の本や雑誌を読んでいると回答しました。

ウクライナへの総立ちの拍手

シェカール・メータRI会長は、ウクライナのリヴィウ市から出席した代表議員、ヘナディ・クロイチック氏を紹介。同氏は、戦争で破壊された同国を離れ、審議会に出席するためにはるばるシカゴにやって来ました。「非常に厳しい状況の中で職務を果たし、ロータリーへのコミットメントを身をもって示した」(メータRI会長)クロイチックさんに、場内の出席者から総立ちの拍手が送られました。

電子的な方針作成

「2022年規定審議会では前例のないことが行われました。Zoomを通じて全大陸から代表議員約200名が審議に参加しました。時差があつたにもかかわらず、議論を行い、その場にいるかのように投票を行いました。これは、電子的な方針作成の最高のかたちといえます」とベントン議長は述べます。「この達成は、対面式とハイブリッド式の両方で審議会ができることを示しています」

投票結果のダウンロードはこちら <https://my-cms.rotary.org/ja/document/vote-totals-2022-council-legislation>

【ロータリーボイス】

平和の祈りを込めたコンサート

広島に家族がロータリーを通じてウクライナを支援

私は、ウクライナ東部のドニプロという都市で育ちました。父はウクライナ人、母はロシア人です。留学のため21歳で来日し、広島市内の会社に勤めました。広島西南ロータリー会員である夫・雅史と出会って、今では10代の息子3人を育てています。夫を通じてロータリーについて知り、7年ほど前にベトナムに赴いてロータリーの孤児院支援活動にも参加しました。

2年前から、末の息子のバイオリン留学のためドイツに住んでいます。ウクライナでの恐ろしい戦争が勃発したのは、2月下旬に日本に一時帰国していたときです。ウクライナの親せきや親友たちのことを考えると心配でたまりませんでした。キーウやドニプロだけでなく、マリウポリとドネツクから脱出できずにいる知り合いもいます。

ウクライナの親戚に電話したところ、ドニプロ近くの安全な地域に住んでいるところが、病院や避難者・負傷者のための医療物資を集めていることを知りました。紛争から逃れてきた避難民が次々とドニプロに流れ込み、患者であふれ返る病院は医療物資を切実に必要としていました。

第2710地区ガバナーである杉川聡さんのお声がけでロータリーでスピーチを行い、人道的援助を呼びかけました。これらのロータリーは既にウクライナのために募金やロータリー財団への寄付を行っていました。

毎日大勢の人が命を落とし、状況が日に日に悪化する中、私は、支援を必要とする人たちに迅速かつ直接に支援を届けたいと思い、ウクライナのロータリーに連絡を取ってみることにしました。日本の複数のロータリーからも、ウクライナ語がわかる私や親戚に現地のロータリーリーダーとの窓口となり、具体的にどのような支援が必要とされているのかを尋ねてほしいと頼まれました。ウクライナのウオロディミール・ボンダレンコ地区ガバナーと連絡がつながり、広島のロータリーからの質問を伝えました。また、ドニプロにいて現地のロータリーに入会できないかと尋ねました。会員になればロータリーの救援活動に参加できるようになると思ったからです。状況の緊急さを理解したボンダレンコ地区ガバナーは、すぐにいとこをキーウ・マルチナショナル・ロータリーに紹介してくれました。

いとこは今、ロータリー会員としてドニプロで

活動しています。

私は以前から、広島で親子のための室内楽コンサートを時々催していましたが、今回は急遽、ウクライナ支援のためのチャリティコンサートとし、バイオリンの息子と、その友人であるピアニストの岡野純大さんが演奏することになりました。馴染みのあるクラシック音楽の曲を披露し、これまでの収益はロータリーを通じてウクライナ支援のために寄付しました。

3月の当初、200人以上の方が関心を寄せてくれましたが、新型コロナウイルスの規制により、コンサートの入場者は1回50人までに制限されました。そのため、4月にもっと大きな会場で再度コンサートを催し、さらに大勢の方に来ていただくことができました。これまでに9回のコンサートを行い(4月22日時点)、4月30日と5月8日にも開催を予定しています。現在までに約120万円の収益があり、全11回のコンサートの総来場者は約1,000人になると予想しています。

現地の人に直接資金をいち早く届けたいと思い、1回のコンサートが終わるごとに収益をいここに送り、現地のロータリーを通じて、手術を受けた人たちの食料・薬・衣服や、避難民のためのマットレスなどの購入費に充てられました。また、ウクライナで医薬品不足が深刻となっているため、ドイツで医療物資を購入してウクライナ東部に送ることも考えています。資金が現地でどのように活用されているかは、定期的に報告が届いています。

音楽とは、国を問わず誰でも理解できる共通言語だと思います。コンサートの前、息子は「平和の祈りを込めて弾く」と言っていました。

この戦争をどう終わらせるか、被災者たちをどう助けられるか。それだけをずっと考えています。ロシア人とウクライナ人の両方の血を引く私は、ロシア人とウクライナ人は兄弟のようなものであり、平和の中で支え合って生きていくべきだと信じています。

ロータリーボイスへ寄稿

エレナ・ボンダレンコ(平石)



【地区活動報告】

2022-2023年度のための「地区研修・協議会」

森本ガバナーエレクトは、4月17日(日)和歌山大学で、次年度のための「地区研修・協議会」を開きました。各クラブから、会長、幹事をはじめ、各委員長など、関係者の464名が参加。コロナ禍の中、感染防止に対応しての開催となりました。

森本ガバナーエレクトの開会点鐘で開始し、中野 次年度研修リーダーの地区研修・協議会目的、次年度・ガバナーの基本方針、地区予算案の説明が行われたほか、午後からは部門別に分かれ、担当の地区委員長から活動方針の説明やディスカッションが行われました。最後に全体会議で部門別協議会報告を行い閉会しました。



【地区活動報告】



2022年度 米山記念奨学生入学式

オリエンテーション・カウンセラー研修

2022学年度の米山記念奨学生入学式とオリエンテーション・カウンセラー研修が2022年4月10日(日)に和歌山JAビルで開催されました。

午後1時から、入学式の前に奨学生オリエンテーションとカウンセラー研修会が並行して行われ、オリエンテーションでは、新本 地区米山学友小委員長奨学生が「守ること・1年間の行事等」について、続いて、董 涛 学友会会長が「卓話について」話しました。このほか、学友会についての説明がありました。また、カウンセラー研修会では、玉井 地区米山記念奨学委員長の講義が行われました。

入学式では、森本ガバナーエレクト、玉井 地区米山記念奨学委員長がそれぞれ挨拶。確約宣言、米山ピンバッチ贈呈などがおこなわれました。



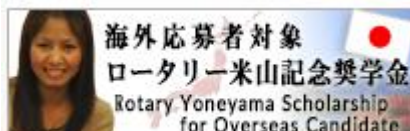
ロータリー米山記念奨学会



日本のロータリーは
海外からの留学生を支援しています

奨学生♥学友の窓口

For Scholars & Alumni: Various
procedures available on this web page



海外応募者対象
ロータリー米山記念奨学金
Rotary Yoneyama Scholarship
for Overseas Candidate

学友の田舎で感動を共有しよう！

ホームカミング制度 

【地区活動報告】

第40回 RYLA研修セミナー

地区青少年・RYLA委員長 橋本 竜也

地区青少年・ライラ委員会は、4月29日～5月1日、2泊3日行程にて和歌山県日高郡由良町の和歌山県立「白崎青少年の家」で第40回RYLA研修セミナーを開きました。

コロナウイルス感染症の影響で、ここ数年、開催できていませんでしたが、本年度は感染防止に努めることで、ようやく開催することができました。

RYLA研修セミナーは「ロータリー青少年指導者養成プログラム」であります。今回は内容の高度化、ハイレベルな実習の実施の観点から、参加対象年齢を20歳以上とし、第2640地区内の各地から、ロータクト、同OB、米山記念奨学生、そして一般学生/社会人の方々の参加を頂きました。



初日、受付では、まず、コロナ対策として検温、抗原検査を実施、開校式、オリエンテーションでは、講師、カウンセラー紹介、RYLAセミナーと施設使用の説明が行われました。基調講演としては川口先生他3名のアシスタントの方を招き、演題のサバイバルに関する講義を実施いたしました。セミナー生においては講義の内容が特殊な点から大変熱心に興味をもって講師の方の話に聞き入っていました。

予定ではセミナー期間中の宿泊は、1人/1張のツーリング TENT を設営しそこで野営するというものでしたが、この日の天候はなんと暴風雨、そして2泊目も天候不順で講師の方の判断で、TENT 設営実習のみとなりました。主催者としては、セミナーの性質から多少のアクシデントのもとでも宿泊体験させてやりたかったところですが、危機管理の点から講師の方の判断を優先させました。夜は、バーベキューです。調理は共同作業で親交を深め、明日からのプログラムや共同演習に備えました。その他、主だったプログラムとしては、公助に繋げる「シグナルテクニック」体温の保持について、野外プログラムとしてTENT 設営・水の確保について・火おこしについて・食について等を学びました。

2日目に夕食は竹を緊急調理器具とした炊飯とサバイバル飯でした。初日はどこか不慣れ不器用さが見られたセミナー生ではありましたが、2日目の調理は見事な連携と共同作業で進められ、若さの順応性と適応力に我々も感心させられました。最終日については講義終了後、RYLAプログラムとして、テーマ討論会、発表資料作成後、感想報告レポートを各自作成し、その後、ロータリー学友委員会総会が行われました。

閉校式では、研修生全員に修了書授与され、3日間のセミナーを修了しました。

コロナ禍で2年度にわたり開催が出来なかったRYLA研修セミナーでしたが、今回、実施できたことを大変うれしく思います。

20歳以上と限定致しましたが、募集段階から「20歳以下の参加はできないでしょうか？」と言った問い合わせもあり、20歳以下へのセミナー企画の設定等の課題も残すところとなり、次年度委員会へこれらを託したく思います。開催については多数の方のご協力とご支援をいただくことが出来ました、委員長として深く感謝し、お礼申し上げます。ありがとうございました。

次年度またご参加くださいますようよろしくお願い致します。

※ 当初掲載しておりました記事に誤り等がありました。訂正してお詫び申し上げます。



【クラブ活動報告】

創立30周年記念式典

田辺はまゆうロータリークラブ

田辺はまゆうロータリークラブ(会長 山本 佳弘)は、4月9日(土)ホテルハーヴェスト南紀田辺で創立30周年式典を開きました。

式典では、記念事業を行った田辺市・闘鶏神社・和歌山県赤十字血液センター紀南出張所に目録を贈呈するほか、奉仕プロジェクト(山本 敦洋)が、1年間の奉仕事業を読み上げたほか、財団・米山 功労者を発表しました。この後、第2690地区の松本 祐二PGを講師に招き、「ポリオ根絶の世界を達成するために」をテーマに基調講演を行いました。



創立85周年記念式典・祝賀会

和歌山ロータリークラブ

和歌山ロータリークラブ(会長 知念 章雄)は、4月23日(土)ホテルグランヴィア和歌山6階ル・グランで創立85周年式典と祝賀会を開きました。

式典は、和歌山出身で小泉内閣の経済、金融、郵政、総務の担当大臣を務めた竹中平蔵氏を講師に招き、基調講演を行いました。式典終了後は、祝賀会を開き、85周年を祝いました。

また、紀州徳川家の10・11代藩主ゆかりの陶磁器など12点を創立85周年を記念して和歌山市に寄贈しました。



【クラブ活動報告】

創立50周年記念式典・祝賀会

堺東ロータリークラブ

堺東ロータリークラブ(会長 奥野 眞一)は、4月24日(日)ホテル・アゴーラ・リージェンシー大阪堺で創立50周年式典を開きました。

オープニングイベントの花柳流、花柳 翠寧々 師範 による日本舞踊で幕が開きました。式典では、記念事業の報告、記念事業を行った堺



商工会議所 時計塔設置のほか、堺市28か所のこども食堂への支援金の目録を贈呈しました。また、永年在籍50年、入会以来皆出席会員の表彰、歴代会長へ記念品を贈呈しました。この



ほか、クラブ奉仕賞、ロータリー財団、米山功労者を表彰しました。また、記念講演は、南港病院 院長補佐 医学博士の城戸 哲夫氏を講師に招き、「新型コロナウイルス感染症との長い闘い」-民間病院 外来医からのメッセージ- と題し、講演を行いました。



「米山奨学生との絆」ネパールの子どもに衣類を寄贈

粉河ロータリークラブ

粉河ロータリークラブは創立55周年記念事業の一環として、ガールスカウト和歌山県第10団と協賛し、ネパールの子どもたちに衣類を寄贈しました。この事業は、2017学年度に受け入れた米山記念奨学生バラタウラ・ジャムナさん(ネパール)の「母国の子供たちを支援したい」という願いから始まりました。彼女とは修了後も交流が続いており、現在は結婚して宮城県仙台市に住んでいます。この母国への熱い思いを聞き、我々も支援しようと検討を重ね記念事業として進めました。



寄贈する衣類の収集や箱詰め作業等をガールスカウト和歌山県第10団が行い、粉河ロータリークラブは輸送を担当しました。ネパールでの配布作業は、ジャムナさんのご家族が3月23~24日にイベントを企画して、「孤児の施設」及び彼女の実家周辺の子供達に配布して頂きました。

両日とも、ご家族総出での作業となりましたが、衣類を受け取った子供たちの笑顔が嬉しかったと聞いています。

またジャムナさんは、200人分(1食分)の食事代を施設に送金されました。衣類を配布した施設、そして彼女のご家族からもお礼のメッセージが届いています。これからもネパールとの交流を深められるよう願っています。

【クラブ活動報告】

第13回公開例会を開催

松原ロータリークラブ

我が松原ロータリークラブでは、例年1月から3月ごろに「公開例会」を社会奉仕の一環として開催しております。地域の皆様のお役に立てるトピックと講師をお呼びして楽しんでもらう事を第一に、岩間公開例会実行委員長をはじめ、当クラブ会員、アクト会員達も一致団結して開催にあたります。

今年で第13回を迎える公開例会ですが、昨年はコロナ禍の為残念ながら中止となりました。今年も新型コロナウイルス感染者は依然高推移し不安な中準備をしておりましたが、3月22日まん延防止等重点措置全面解除を受け、会場での感染対策(会場入口での検温・消毒・人数制限)をしながらの開催実施を決断し今年は昨年度予定だった内容を引き継ぎ「松原市歌から歴史かがやく郷土を知ろう」(右参照)として開催する事が出来ました。

当日4月3日は会場の中に居るのがもったいないくらいの天候になりました。12時ごろからお客様が集まり始め検温、消毒に協力してもらいながら開始時刻には130名ほどの来場を数えました。

豊岡ガバナー、藤井パストガバナーを始めロータリアンの皆様、当市のご来賓の皆様も多数ご来場いただきまして誠に感謝いたします。



(左から岩間実行委員長、脇田当クラブ会長、講師の西田様、豊岡ガバナー、藤井パストガバナー)

入場無料

第13回松原ロータリークラブ公開例会

■演題

松原市歌から歴史かがやく郷土を知ろう

～日本遺産の古道、都、巨大古墳、古社寺を訪ねて～

■日時

令和4年4月3日(日)

12:30～受付13:00～開演

■場所

松原商工会議所会館2階

※当日 お車での来場はご遠慮ください

※ご注意

- 会場では密を回避する為150人で入場制限をします。
- 入り口での検温アルコール消毒やマスクの着用をお願いします。
- 新型コロナウイルス感染症の状況次第で中止または延期の可能性がございます。

主催 松原ロータリークラブ

後援: 松原市・松原市教育委員会

松原市文化財保護審議会 会長
講師 **西田 孝司**

TEL.072-331-1009

地域に関連性の高い題材の為、近隣の方、特に当市で生まれ育った私のような者には非常に関心のおける内容をお届け出来たのではないかと存じます。細かい内容は割愛しますが、松原市には反正天皇の時代に都があった。今も昔も松原は「ジャンクション」として交通の要所など。「史跡・古墳・街道・社寺」などの題材をとてユニークにお話して頂いたと思います。

スライドを操作しながらの私も楽しかったです。

これからも地域社会への奉仕としてこの公開例会を盛り上げていきます！

(松原ロータリークラブ 楠原)

新会員の紹介

	クラブ名	堺中ロータリークラブ		クラブ名	田辺はまゆうロータリークラブ
	氏名	おかもと ゆきひさ 岡本 幸久		氏名	おおた ただひろ 大田 忠博
	職業分類	機械工具販売		職業分類	デザイン・印刷・ウェアプリント
	生年月日	1963年11月25日		生年月日	1976年3月27日
	入会年月日	2022年4月6日		入会年月日	2022年3月8日
	クラブ名	和泉南ロータリークラブ	ロータリーへようこそ！ 多様な会員が 集まるクラブに 		
	氏名	おおこうち よしゆき 大河内 義之			
	職業分類	弁護士			
	生年月日	1973年6月22日			
	入会年月日	2022年4月7日			

ロータリークラブへの入会

変化を生み出すロータリーの力の源は、世界46,000以上のクラブで活動する140万人の会員。友情で結ばれた会員は、地元での草の根の活動から、大規模な世界的活動まで、幅広く取り組んでいます。



入会できそうな友人、知人を是非お知らせください。新会員を紹介できるのは、現会員のみとなります。自分のクラブの会長、幹事、増強委員長にご連絡ください。

奉仕と友情の輪を広げよう



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

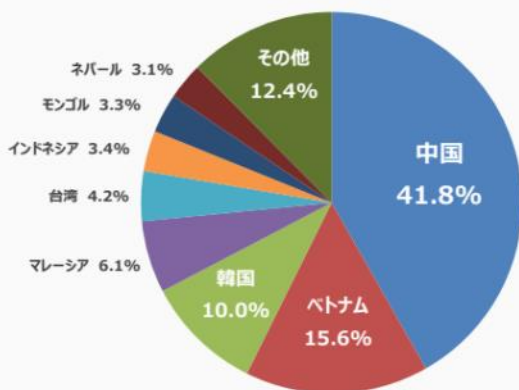
ハイライト よねやま

Vol.265

2022年4月13日
発行

1. 2022 学年度の奨学生

2022 学年度の奨学生は昨年度より 10 人減の 900 人となりました。新規採用者 619 人、継続者 281 人です（4 月 8 日現在）。国・地域別に



みると、中国 41.8%、ベトナム 15.6%、韓国 10.0%、マレーシア 6.1%、台湾 4.2% の順です。プログラム別では、学部・修士・博士課程奨学金が 850 人（学部 430 人、修士 218 人、博士 202 人）、地区奨励奨学金 16 人、クラブ支援奨学金 8 人、海外学友会推薦奨学金 3 人、海外応募者対象奨学金 23 人となっています。4 月末までに各地区でオリエンテーションが開催されます。オリエンテーションは、奨学生とカウンセラーが出会い、奨学生としての義務やロータリーについて理解してもらう場です。確約書に署名をした後、正式に米山奨学生となります。どうぞ温かくお迎えください。

2. 巣立った奨学生へ — カウンセラーからのメッセージ —

米山奨学生のカウンセラーには年に 2 回、所見の提出をお願いしています。今回はその中から、今年 3 月に卒業した中国出身の米山奨学生、^{ロウ}婫 さんのカウンセラーを務めた松林 茂会員（東京セントラル RC）からのメッセージを紹介します。

＜カウンセラーからのメッセージ＞

2 年間、当クラブでお世話をしたロウセンさんの卒業にあたり、カウンセラーとして最後の報告をします。2 年間とはいえコロナで例会も途切れがちとなり、ロウセンさんに対して十分な配慮ができたかどうか、自責の念にとらわれます。体感としては 8 カ月ぐらいいしかお世話できていない感じです。他の会員にしても同じような感覚ではないでしょうか。



3 月の例会卓話では、彼女が東京大学大学院博士課程で醸造について学んできたことを、われわれにわかりやすく解説してくれる予定でした。コロナの影響でそれも叶わず残念です。大昔、ロウセンさんの故郷・中国から日本に伝わった酵母。これを使った醸造により作られた味噌・醤油・お酒は、日本の食文化に欠かせないものです。若いロウセンさんがその中国から日本に勉強に来られていることに、先人たちの色々な交流の果てにわれわれが今を生きていることを実感します。

卒業後の彼女の進路がどのようなものになるろうとも、日本の良き理解者として、中国との懸け橋として、今後大いに活躍されることを祈っています。

3. 寄付金速報 — 今年度初めて前年同期比増へ —

3 月までの寄付金は前年同期と比べて 0.1% 増（普通寄付金：0.9% 減、特別寄付金：0.6% 増）、約 50 万円の増加となりました。今年度に入り、前年同期よりも寄付累計額が増額になったのは初めてで、少しずつではありますが回復傾向に

あります。ロータリアン皆さまからのご支援に厚く御礼申し上げます。まだコロナ感染者数も減少せず、不安な日々が続いていますが、これからもご協力を賜りますようお願いいたします。

4. 東京米山ロータリーEクラブが創立 10 周年

米山学友を中心とする国内初のEクラブ、東京米山ロータリーEクラブ 2750 の創立 10 周年オンライン記念例会が 3 月 20 日に開催されました。事前に登録したロータリアンや米山学友、奨学生など海外からの参加を含む総勢 100 人ほどが出席。同クラブ会員やゲストが一部会場に集まり、そのほか約 70 人が ZOOM で参加するハイブリッド形式で進行されました。

肖慧潔会長 (2008-09/東京白金RC) は挨拶の冒頭で、新型コロナウイルスや戦争によって命を落とした人々を追悼し、黙祷を捧げました。つづいて、関 博子クラブ特別代表の挨拶、三浦眞一ガバナーからの祝辞がありました。

記念式典の目玉は「未来を担う子ども達」をテーマとするパネルディスカッション。ファシリテーターの長崎 智香子さん、パネリストのコイララ アシユマさん (東京井の頭RC)、沈佳琦さん (東京立川こぶしRC)、タン シン ナインさん (東京調布RC)、張沁瑩さん (茅ヶ崎中央RC) はいずれも同クラブ会員です。パネ

リストはそれぞれ、サマーキャンプやミャンマー・ネパールにおける教育支援、日本在住でありながら日本語が話せない子どもへの支援など各自の活動を紹介。最後にブレイクアウトセッションがあり、普段のEクラブ例会の交流体験が行われました。

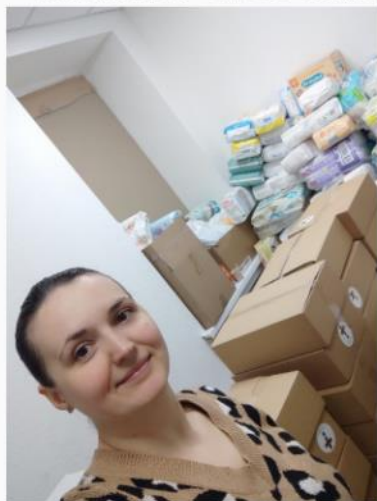
現在、同クラブは会員 37 人 (ほか名誉会員 1 人)、会員の出身国は 7 つの国・地域から構成されています。今後も若いパワーを生かし、クラブがますます発展することを祈念しています。



5. ウクライナの米山学友は今

ウクライナ出身の米山学友はこれまでに 12 人。そのうちの 1 人、『ロータリーの友』2021 年 2 月号の「よねやまだより」に掲載されたテチアナ・セゾネンコさん (2017-19/大阪城南RC) の近況を紹介します。

戦争勃発後、それまで製剤化学者として農



作物のための薬剤を開発する日々を送っていたテチアナさんの生活は一変。祖国のために何かできることを…と考えた彼女は志願してボランティア団体に入

り、最も弱い立場にいる人々のために、赤ちゃんのオムツや粉ミルク、衛生用品、食料、飲料水、ペットフードなどの生活必需品を送る活動を始めました。時には足りない薬を探しに奔走し自費で購入すること。文字通り昼夜を問わず奮闘する日々を送っています。彼女の世話クラブである大阪城南RCも、会員や米山学友から寄せられた義援金を送金したということです。テチアナさんは次のように語りました。「ロータリーの皆さんからのお金は難民の支援に充てています。私は首都キーウ (キエフ) から 80km ほど離れた所にいて、破壊された町から逃げてきた人々の手助けをしています。一番の願いは小さな子どもたちが普通の生活を送れる日々を取り戻すことです。私の心はウクライナとともにあります。一日でも早く、明るい日が来てほしい。ウクライナから希望をこめて」

会員増強からモチベーションアップへつなげる

長い時間をかけてようやく新しい会員の入会にこぎつけて安堵したのも束の間、親しかったクラブの仲間が退会するという情報が耳に入ってやりきれない思いに…。こうした事態は達成感のカウンターのようになり、高まっていたテンションを打ち砕いてしまいます。会員数だけでなく、会員の高齢化もクラブのポテンシャルをダウンさせてしまうでしょう。今では、新型コロナウィルスの連波にあわせてクラブ例会がストップしてしまい、ロータリーに対するモチベーションが損なわれて、いつの間にか寒風が吹くようになってしまったというクラブも増えているかもしれません。新型コロナウィルスと共に過ごさざるを得ない昨今、モチベーションの維持こそが緊急課題のように思えてなりません。

会員増強というテーマを数量達成のテクニックとして受け止めるだけではなく、ロータリーに対するモチベーションアップというところにつなげて考えていくということに強い関心をもってきました。ロータリーに入会しても、ロータリーの魅力や醍醐味を体感しないまま漫然とロータリーを続けている人（恥ずかしながら、かつての自分の姿です）や、ロータリーを理解するに至らないまま入会して間もなく退会してしまう人がたくさんいるということを聞くと、胸を締め付けられるような気持ちになります。会員増強から在籍の定着、つまり会員維持につなげなければ何の意味もない。さらに言えば、在籍期間だけでなく、ロータリアンとしてロータリーに対する熱い思いを増幅させていかなければ、アクティブなパワーは生まれてこないし、持続可能なロータリーにはならないとも思っています。

ロータリーへのモチベーションや高い目的意識を保ち続けていくには、研修セミナーやミーティングを通して、向上へのスイッチを入れたり学びや情報入手を習慣化するという一連性も必要だと思います。掲げた目標に対して経過や結果を放置せず、きちんと確認して次の段階に活かしていくスタイルも強く意識しなければならないと思います。

戦略計画には、会員増強と会員維持と会員資質向上をリンクさせた総合性のあるコンテンツが必須だと思いますし、行動計画として具体的に実行していくことが次の会員増強に弾みをつけることになるかと確信しています。

●MISSION:POSSIBLE～私たちにできること～

会員増強にしても奉仕活動にしても、最初から否定的に考えてしまうことがあると思います。見かけ上は謙遜や謙譲といった美德のように受け止められるかもしれませんが、ロータリーにおいてはモチベーションアップになりません。プラス志向による立場や行動こそが、ロータリアンとしてのステップアップになると言い切りたいと思います。

ロータリーコーディネーター補佐 関 邦則（長野RC）

世界ポリオデー 2022 in Japan

2年余に及ぶ新型コロナウィルスの影響で、ロータリー活動にも大きな変化が生じました。ソーシャルディスタンスを保ちながら、例会、そして人道奉仕活動を継続していただきありがとうございました。多くの皆様は、コロナワクチンの3回目のブースター接種を済まされたことと思います。政府は第4回目のワクチン接種も計画していると報じられています。改めて、ウィルスの感染防止に対して、ワクチンの重要性を再認識することになりました。ロータリーは30数年も「ポリオ根絶」に取り組んできました。

日本国内においてポリオはすでに忘れられた存在になっており、ポリオの意識は低いです。日本国内では、2012年9月から不活化ワクチン注射接種が始まりました。現在は、生後3か月から12か月の間に3回、その後追加接種で1回、合計4回の接種が行われています。日本でも毎年ワクチンを接種し続けると海外からポリオウイルスが入ってくることで感染リスクも考えられます。

「ポリオ根絶」はロータリーの最優先事項、ワクチン接種の継続こそが根絶への鍵であります。達成まであと少しです。コロナを経験して、日本でも再度「ポリオ根絶」に力をいれたいと願っています。残り後2か国ですが、生ワクチンや不活化ワクチンの接種を継続していかなければなりません。ワクチンの代金、それを保存、運搬するクーラーなどに、まだまだ多くの費用が掛かります。皆様ご存知のように、ビル＆メリンダ・ゲイツ財団がロータリーの資金に対し、2倍のマッチングを行っているため、皆様のポリオプラスのご寄付が3倍になるわけです。その支援がある間にぜひ、根絶したいと思います。

国際ロータリーでも、10月24日の「世界ポリオデー」には全世界で認知度を高め、寄付を募るイベントをしています。

今年は、日本各地で、地区単位、クラブ単位での世界ポリオデーイベントを企画、実施してポリオ根絶に挑戦したいと思います。今年は、ポリオ根絶コーディネーター（EPNC）はもとより、ロータリー公共イメージコーディネーター（RPIC）の皆さんがこの世界ポリオデーのイベントを地域や日本全国にメディアを使って発信し、ロータリーの認知度やイメージの向上につなげ、そして、会員増強までつなげたいということで、ロータリーコーディネーター（RC）の皆様、さらに、恒久基金/大口寄付アドバイザー（E/MGA）、と協働して、地域リーダー全員で「世界ポリオデー」を盛り上げて行くことができたらいいなと思っています。

第2地域 RRFC 服部 良男（愛知三州RC）

第2640地区 会員数報告(2022年3月)

クラブ名	会員数				入会			退会			クラブ名	会員数				入会			退会		
	21.7.1	内女性	22.3月末	内女性	3月	内女性	累計	3月	内女性	累計		21.7.1	内女性	22.3月末	内女性	3月	内女性	累計	3月	内女性	累計
串本	9	1	7	1	0	0	0	0	0	2	松原	15	0	15	0	0	0	0	0	0	0
那智勝浦	12	0	11	0	0	0	0	0	0	1	松原中	26	4	24	3	0	0	0	0	0	2
新宮	46	2	46	2	0	0	1	0	0	1	美原	5	1	5	1	0	0	0	0	0	0
白浜	10	1	10	1	0	0	0	0	0	0	大阪狭山	7	1	7	1	0	0	0	0	0	0
田辺	80	3	82	3	0	0	2	0	0	0	太子	17	1	18	1	0	0	2	0	0	1
田辺東	39	3	36	3	0	0	0	1	0	3	富田林	34	0	35	0	0	0	1	0	0	0
田辺はまゆう	27	4	31	6	1	0	3	0	0	1	ワールド大阪 ロータリーモクラブ	9	1	9	1	0	0	0	0	0	0
有田	26	1	27	1	0	0	1	0	0	0	泉佐野	20	0	20	0	0	0	0	0	0	0
有田南	27	1	25	1	0	0	0	0	0	2	貝塚	16	3	16	3	0	0	0	0	0	0
有田2000	17	0	15	0	0	0	0	0	0	2	貝塚コスモス	12	3	11	3	0	0	0	0	0	1
御坊	42	3	39	3	0	0	0	2	0	3	関西国際空港	18	1	18	1	0	0	0	0	0	0
御坊東	15	0	15	0	0	0	0	0	0	0	岸和田	33	1	31	1	0	0	0	0	0	2
御坊南	15	6	15	6	0	0	0	0	0	0	岸和田東	40	6	39	6	0	0	0	0	0	1
海南	9	0	9	0	0	0	0	0	0	0	岸和田南	9	0	9	0	0	0	0	0	0	0
海南東	40	5	41	6	0	0	1	0	0	0	KUMATORI 向日葵	9	2	8	2	0	0	0	0	0	1
海南西	18	2	18	2	0	0	0	0	0	0	りんくう泉佐野	15	3	16	3	0	0	1	0	0	0
Rotary E-Club Sunrise of Japan	7	2	7	2	0	0	0	0	0	0	羽衣	17	1	15	1	0	0	0	0	0	2
和歌山	72	1	71	1	0	0	4	4	0	5	和泉	21	0	25	0	0	0	4	0	0	0
和歌山アゼリア	27	9	28	9	0	0	2	0	0	1	泉大津	43	3	43	3	0	0	0	0	0	0
和歌山東	45	0	43	0	0	0	0	2	0	2	和泉南	56	2	54	2	0	0	1	1	0	3
和歌山城南	39	1	38	1	0	0	1	1	0	2	大阪金剛	12	1	13	1	0	0	1	0	0	0
和歌山中	22	0	21	0	0	0	0	0	0	1	高石	25	2	24	1	0	0	0	0	0	1
和歌山北	30	1	31	1	0	0	1	0	0	0	高師浜	9	1	11	1	0	0	2	0	0	0
和歌山南	79	5	77	5	0	0	1	2	0	3	堺	40	4	41	5	0	0	6	2	0	5
和歌山東南	35	6	36	6	0	0	1	0	0	0	堺東	19	3	19	3	0	0	0	0	0	0
和歌山西	10	1	9	1	0	0	0	0	0	1	堺泉ヶ丘	20	2	21	3	0	0	1	0	0	0
橋本	46	0	45	0	0	0	1	0	0	1	堺中	21	3	20	3	0	0	0	0	0	1
岩出	23	1	24	1	0	0	1	0	0	0	堺北	31	1	28	1	0	0	0	0	0	3
河内長野高野街道	17	3	17	3	0	0	0	0	0	0	堺おおいずみ	27	3	27	3	0	0	0	0	0	0
粉河	17	1	16	1	0	0	0	1	0	0	堺フェニックス	9	4	9	4	0	0	0	0	0	0
高野山	19	0	16	0	0	0	0	0	0	3	堺清陵	23	4	22	4	0	0	0	0	0	1
羽曳野	9	0	10	0	0	0	1	0	0	0	堺南	9	0	9	0	0	0	0	0	0	0
河内長野	18	4	19	4	0	0	1	0	0	0	計	1,634	129	1,619	132	1	0	43	16	0	58
河内長野東	20	1	22	1	0	0	2	0	0	0											



クラブ数	2021年7月1日 会員数				2022年3月末 会員数				3月入会				3月退会				増減			
66	男性	1,505	女性	129	男性	1,487	女性	132	男性	1	女性	0	男性	16	女性	0	男性	-15	女性	0
	1,634				1,619				1				16				-15			

※和泉南RC 7/1付け 1名入会

※橋本RC 7/1付け 1名入会

2021-2022 年度 国際ロータリー第2640地区

MY ROTARY 登録状況 [2022年4月26日現在]

2640地区	会員数	登録人数	登録率
2022年4月26日	1,628	682	41.89%

クラブ名	会員数	登録人数	登録率
串本	7	1	14.3%
那智勝浦	11	3	27.3%
新宮	46	17	37.0%
白浜	10	6	60.0%
田辺	83	49	59.0%
田辺東	36	10	27.8%
田辺はまゆう	31	10	32.3%
分区計	224	96	36.8%

クラブ名	会員数	登録人数	登録率
Rotary E-club Sunrise of Japan	8	7	87.5%
和歌山	71	51	71.8%
和歌山アゼリア	28	7	25.0%
和歌山東	43	30	69.8%
和歌山城南	39	10	25.6%
和歌山中	21	6	28.6%
和歌山北	31	7	22.6%
和歌山南	77	15	19.5%
和歌山東南	36	11	30.6%
和歌山西	9	1	11.1%
分区計	363	145	39.2%

クラブ名	会員数	登録人数	登録率
羽曳野	10	2	20.0%
河内長野	19	19	100.0%
河内長野東	22	2	9.1%
松原	15	8	53.3%
松原中	24	7	29.2%
美原	5	0	0.0%
大阪狭山	7	6	85.7%
太子	18	10	55.6%
富田林	35	11	31.4%
分区計	155	65	42.7%

クラブ名	会員数	登録人数	登録率
羽衣	15	11	73.3%
和泉	25	5	20.0%
泉大津	43	19	44.2%
和泉南	55	8	14.5%
大阪金剛	13	10	76.9%
高石	24	10	41.7%
高師浜	11	8	72.7%
分区計	186	71	49.1%

100% 達成クラブ

貝塚ロータリークラブ

河内長野ロータリークラブ

2021-2022年度
登録率目標

65%

クラブ名	会員数	登録人数	登録率
有田	27	15	55.6%
有田南	25	3	12.0%
有田2000	15	9	60.0%
御坊	41	15	36.6%
御坊東	15	5	33.3%
御坊南	15	4	26.7%
海南	9	6	66.7%
海南東	41	34	82.9%
海南西	18	0	0%
分区計	206	91	41.5%

クラブ名	会員数	登録人数	登録率
橋本	45	4	8.9%
岩出	24	7	29.2%
河内長野高野街道	17	10	58.8%
粉河	16	10	62.5%
高野山	16	9	56.3%
分区計	118	40	43.1%

クラブ名	会員数	登録人数	登録率
ワールド大阪 ロータリーEクラブ	11	7	63.6%
泉佐野	20	10	50.0%
貝塚	16	16	100%
貝塚コスモス	11	7	63.6%
関西国際空港	18	4	22.2%
岸和田	31	8	25.8%
岸和田東	39	26	66.7%
岸和田南	9	1	11.1%
KUMATORI向日葵	8	3	37.5%
りんくう泉佐野	16	7	43.8%
分区計	179	89	48.4%

クラブ名	会員数	登録人数	登録率
堺	41	13	31.7%
堺東	19	14	73.7%
堺泉ヶ丘	21	6	28.6%
堺中	21	5	23.8%
堺北	28	9	32.1%
堺おおいずみ	27	9	33.3%
堺フェニックス	9	7	77.8%
堺清陵	22	21	95.5%
堺南	9	1	11.1%
分区計	197	85	45.3%

目標達成 15クラブ

5月の行事予定表

日付	行 事	場 所
1(日)	第40回 青少年・ライラセミナー(4/29~5/1)	白崎青少年の家
7(土)	インターアクト委員会会議(ZOOM可)	ガバナー事務所
	第11回ガバナー補佐・幹事合同会議	けやきONE401
	第5回次年度ガバナー補佐・幹事合同会議	けやきONE401
8(日)	RLIパートIII	ZOOM
12(木)	地域社会奉仕委員会会議	ガバナー事務所
15(日)	新旧合同クラブ社会奉仕委員長会議	JA和歌山 和ホール
20(金)	第7回ローターアクト委員会会議(ZOOM可)	ガバナー事務所
30(月)	第5回ガバナー会議	グランブونسホテル 新高輪3F「平安」

ガバナー月信の表紙写真 ご提供のお願い！

ガバナー月信の表紙写真をご提供ください。

第2640地域内でご自身が撮影された写真(著作物の利用を許可できる作品)をご提供ください。

風景など、地域の様子をご紹介していただける写真(データ)をお願いします。

なお、ご提供が多数ある場合は、編集会議で協議し、決めさせていただきますので、予め、ご了解ください。 何卒、ご協力をお願い申し上げます。

ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY

国際ローター

第2640地区 ガバナー事務所

〒640-8331

和歌山市美園町3-34 けやきONE 301号室

TEL (073) 426-2640

FAX (073) 426-2660

e-mail : toyooka@rid2640g.com

JR和歌山駅西口から徒歩7分

阪和道、和歌山インターから約10分

